

「もつと暮らしながら都城市」を目指して

みやこんじよ

市では、地域の豊かな自然環境を次世代へ引き継ぎ、誰もが「いつまでも暮らしたい」と思えるようなまちを目指して、平成23年度に「都城市環境基本計画」を策定しました。環境問題を自分自身の問題と認識し、まずは身近に出来ることから始めてみましょう。

◎問い合わせ

環境政策課 ☎23-2130

環境基本計画では、次の6つの基本施策を柱として、具体的な取り組みを実施しています。

環境基本計画の

6つの柱

- 1 自然環境の保全
- 2 良好な生活環境の維持
- 3 低炭素社会づくり
- 4 循環型社会づくり
- 5 環境と調和したまちづくり
- 6 環境保全への人づくり

1 自然環境の保全

豊かな自然に囲まれた本市は、たくさんの方の動植物に恵まれています。また、長い年月をかけて蓄えられた地下水は、私たちの生活に欠かせないものです。本市ならではの自然環境を守り、未来に残していきたいでしょう。

●生態系の保全

野生動物植物の保全・保護活動へ参加しましょう

●地下水の保全

苗木植栽などの森林保全活動へ参加しましょう

2 良好な生活環境の維持

空気の汚れや、臭いについての苦情がたくさん寄せられています。また、大淀川は、近年では水質の改善がみられるものの、継続した取り組みが必要です。空気や河川をきれいにして、心地よい生活環境をつくりましょう。

●大気環境の保全

マイカーの利用を控え、公共交通機関や自転車を積極的に利用しましょう

●水環境の保全

家庭での生活排水対策を実践しましょう



【どんぐり1000年の森を作る会が主催する植栽活動】自然の森を残すことを目的に、どんぐりやクヌギなどの苗木を植栽



河川浄化活動（柳河原川クリーン作戦）

家庭でできる

生活排水対策

●使用済みの油は、冷ましてから新聞紙などに染み込ませ、燃やせごみで出しましょう



●食器や鍋に付いている油などは、洗う前に拭き取りましょう



●野菜くずや残飯などは、台所で回収しましょう



●洗剤は適量を使いましょう

市では、合併浄化槽の設置補助を行っています。単独浄化槽などから合併浄化槽への切り替え、下水道への接続を願います。

◎合併浄化槽の補助に関する問い合わせ

下水道課 ☎23-5921

3 低炭素社会へつなぐ

私たちの生活に欠かせない電気やガスは、石油や石炭などの化石燃料からつくられています。化石燃料は、燃焼するときに二酸化炭素(CO₂)を排出することから、地球温暖化の一因とされています。

● **温室効果ガス排出量の削減**
自動車を運転するときは、スピードを控えるために、エコドライブを実践しましょう

● **エネルギー対策**
太陽光発電や太陽熱利用など、再生可能エネルギーの導入に努めましょう

CO₂削減はこんなにお得です

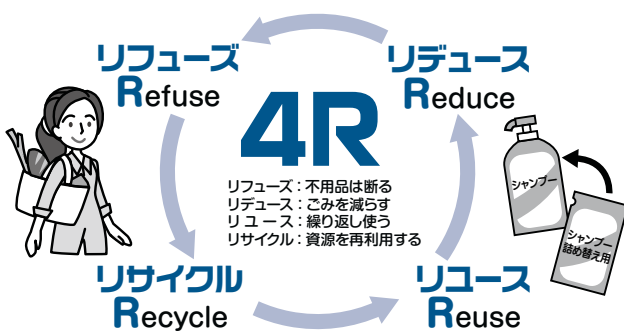
CO ₂ 削減目標		CO ₂ 削減量	節約金額
冷暖房エコ	冷房を1℃高く、暖房を1℃低く	3.2kg 3.6kg	178円 202円
待機電力エコ	外出時はコンセントを抜く	5.0kg	282円
洗濯エコ	風呂の残り湯を洗濯に使う	0.54kg	342円
ジャーエコ	ジャーの保温を止め、冷凍保存	2.8kg	158円
団らんエコ	家族が同じ部屋で過ごす	19.8kg	866円
エコバッグ	省包装の野菜を求め、エコバッグを使う	4.8kg	—
運転エコ	週2日往復8kmの運転を控える	14.7kg	736円

4 循環型社会へつなぐ

限りある資源を上手に使う循環型社会をつくるためには、ごみを減らし再資源化する体制づくりが必要で、環境に負担のかかる「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」を見直しましょう。

● **廃棄物の適正処理「4R」の推進**
買い物をするときには、レジ袋の削減やマイバックの持参など、ごみの発生抑制に努めましょう

● **環境にやさしい製品利用**
使い捨て品の使用を控え、再生紙やペットボトルを原料にした製品を利用しましょう



4R運動とは、ごみの減量化につながる4つの言葉の頭文字をとった運動です

5 環境と調和したまちづくり

自然や景観、文化は、そこで暮らす人たちの愛着を生み出します。こうした自然や文化的資源などを生かした取り組みは、持続可能なまちづくりにおいて大変、重要な役割を担っています。

● **快適な生活空間の創出**
公園や広場、道路、河川など公共の場をきれいに保ち、地域で行われる生活環境の保全活動に参加しましょう

● **環境にやさしい産業づくり**
地域で生産される食材や資材を積極的に利用するなど、地産地消に努めましょう

6 環境保全への人づくり

一人一人がモラルを守り、人と環境との関わりについて理解し、環境にやさしい生活や行動をとることが環境保全への第一歩です。環境学習や自然体験を通して、マナーやモラルを高めましょう。

● **環境保全活動の推進**
「都市環境美化の日」への参加など、地域の環境保全活動に積極的に参加・協力しましょう

● **環境学習の推進**
講習会や自然観察会などに参加するなど、積極的に環境学習に参加しましょう

楽しく学ぼう「こどもエコクラブ」

こどもエコクラブは、生きもの調査やリサイクル活動などを通して、楽しみながら環境に関する学習や活動を行うクラブです。

家族やクラスの友達などと参加してみませんか？

活動紹介 五十市中学校エコクラブ

生徒会役員を中心に、全校生徒で活動していて、今年で3年目を迎えます。地域の高齢者と共同でエコグッズを製作し、幼稚園児にプレゼントするなど、地域交流を通じた環境活動に取り組んでいます。活動を続けていくうちに、生徒一人一人に環境保全への意識が芽生え、自主性も育まれています。



太陽光発電施設の見学

ハロー市役所

元気講座

84講座を
出前します



区分	講座名	担当課・連絡先	区分	講座名	担当課・連絡先
市政	市長の出前講座	秘書広報課 ☎23-3174	都市計画	都城志布志道路について	都市計画課 ☎23-2762
	都城市の広報活動について			まち学習① 都市計画マスタープラン	
	都城市の財政について	まち学習② 景観まちづくり			
	都城市の行政改革について	まち学習③ 地区計画			
	地方自治制度について	総務課 ☎23-2117	教育	いじめ、不登校はみんなで解決!	学校教育課 ☎23-9544
	情報公開とプライバシー保護			青少年の非行と防止について	
	行政手続き制度について	家庭教育(親の役割)		生涯学習課 ☎23-9545	
	選挙の仕組みについて	乳幼児期のしつけの重要性			
	市県民税について	子どものときからコミュニケーション			
	固定資産税についての豆知識	お父さん、お母さん、もっと聞き上手に			
	国民健康保険・後期高齢者医療制度について	親が変われば子どもも変わる			
	国民年金制度について	絵本と子育て			
	市民課窓口業務講座	6歳までの「簡単な習慣」が子育ての決め手!			
	みんなでささえる介護保険	思春期における子どもの心理と行動			
福祉	障がい者福祉サービスについて	福祉課 ☎23-2980	今、PTAが楽しい	生活文化課 ☎23-2121	
	地域福祉活動について		高齢者よ、今が旬		
	心の健康		子どもの夢を育む子ども会		
	自殺予防について	保育課 ☎23-4894	生涯学習について		生涯学習課 ☎23-9545
	子ども・子育て支援事業について		男女共同参画社会の実現に向けて		
	保育所・幼稚園・認定子ども園について	こども課 ☎23-2684	人権感覚を磨こう		生涯学習課 ☎23-9545
	児童福祉サービスについて	母子・寡婦福祉サービスについて	国際交流		モンゴル紹介
母子・寡婦福祉サービスについて	中国紹介				
健康	予防接種について	こども課 ☎23-2684	カナダ紹介	生活文化課 ☎23-2295	
	健康管理① 食育編		文化歴史		美術館講座 鑑賞の楽しみ
	健康管理② 妊婦編		健康課 ☎23-2765	都城市2万年の歴史	文化財課 ☎23-9547
	健康管理③ 乳幼児編			図書	図書館への招待
	健康管理④ 成人編(1)	防災		防災講座	危機管理課 ☎23-2129
	健康管理⑤ 成人編(2)	消費生活		悪徳商法から財産を守る	生活文化課 ☎23-2121
	健康管理⑥ 高齢者編(1)	交通安全		犯罪・交通事故のない街づくり	生活文化課 ☎23-7183
	健康管理⑦ 高齢者編(2)	議会		議会のしくみ	議会事務局 ☎23-7869
	健康管理⑧ 食生活編	健康課 ☎23-2765	体験しよう!	防火講話	消防局総務課 ☎22-8882
	認知症講座	介護保険課 ☎23-2114		救命入門コース	消防局警防救急課 ☎22-8883
環境学習会	環境業務課 ☎24-5560	救急法講習			
守ろうみんなの大淀川	環境政策課 ☎23-2130	普通救命講習			
環境	都城市の地下水について	森林保全課 ☎23-2152	体験しながら学ぶ都城の歴史	文化財課 ☎23-9547	
	上水道の話	水道局工務課 ☎23-4270	リサイクルプラザ・さいせい館	リサイクルプラザ ☎36-3900	
	よりよい水環境をめざして	下水道課 ☎23-5921	清流館・清浄館	下水道課 ☎23-5921	
	清掃工場ってどんなところ?	清掃工場 ☎23-0277	清掃工場	清掃工場 ☎23-0277	
	産業	都城市の企業立地について	商工政策課 ☎23-2983	一般廃棄物最終処分場	環境施設課 ☎23-3319
		中心市街地の活性化	みやこんじょPR課 ☎23-2615	学芸員ってどんな仕事?	文化財課 ☎23-9547
都城市の地場産業について		来て見て!「都城島津邸」		都城島津邸 ☎23-2116	
都城市の観光・イベント		農政課 ☎23-2768			

※申し込みは、各講座の担当課まで

市民の皆さんが主催する学習会などで、メニューの中からリクエストに応じて職員が市政の話をする講座です。また、今年度新たに、市長が市政の取り組みについて話をする出前講座を開催します。

●対象 市内に在住、勤務、通学する10人以上の団体やグループ

●申込方法 実施予定日の1カ月前までに申込書を各講座の担当課に提出。ただし、市長の出前講座については3カ月前に提出

●会場 受講者が準備。使用料は、受講者負担。ただし、各地区公民館やコミュニティセンター、教育集会所は無料

●時間 9時～21時の間で、2時間以内

※業務などの関係で、希望日に開講できない場合があります

●講師料 無料。ただし、材料費などが必要な場合があります

●その他 この講座は、市の職員が担当する仕事について話をするもので、苦情や陳情を受け付ける場ではありません

「ハロー元気講座」も募集中!

企業や組合に勤める人が講師となり、専門的な知識を生かした講座や実習を行う「ハロー元気講座」(無料)も実施しています。

●講座内容 企業の現場を見学できる「施設見学」コース、プロの技術を実際に体験できる「技術・体験」コース、租税や保険、財産設計などの詳しい説明を聞くことができる「生活」コースなど、6

コース全37講座

※詳しくは、生涯学習課などで配

布しているパンフレットをご覧ください

●申込方法 団体・グループの代表者が、実施予定日の1カ月前までに「ハロー元気講座申込書」を生涯学習課へ提出

※この講座は、企業および受講者それぞれの責任においての開催となりますので、保険への加入をお勧めします

◎問い合わせ

生涯学習課 ☎23-9545



6月23日(月)～29日(日)は
男女共同参画週間

男性と女性の役割の変化

戦後、経済成長を遂げてきた日本。「夫は外で働き、妻は家庭を守る」と言った考えが、女性の社会進出により変化してきました。

今や女性は、労働人口の4割を占め、政治や経済、社会など多くの分野で活躍しています。また、男性が、育児休暇を取ったり、家事や育児に協力したりするなど時代と共に男女の役割も変化してきました。

このようなことから国では、性別に関係なく固定的な役割分担意識の積極的な改革のため、「家事場のパパヂカラ」をキャッチフレーズに推進しています。

悩んだら相談ください!

市では、女性相談員や女性弁護士による女性総合相談を開催しています。配偶者や恋人などパートナーから受けるDV被害、職場や家庭での悩み事などの相談窓口を設置しています。相談は無料で、秘密は厳守します。一人で悩まず、まずは相談してください。

自分の行動に責任を持つ社会

少子高齢化が進み社会の担い手が少なくなっていく中で、性別に関わらず、私たち一人一人が自分の持つ能力や個性を十分に発揮していくことが求められています。そのような中、全ての人の人権が尊重され、自分の意思で社会のさまざまな分野の活動に参加し、それぞれが自分の行動に責任を持つ社会が男女共同参画社会です。その、実現に向け、一人一人が自らの問題として取り組むことが大切です。

◎問い合わせ
生活文化課 ☎23-2121

「都城の対外交流と唐人町」

期間…6月28日(土)～10月5日(日)

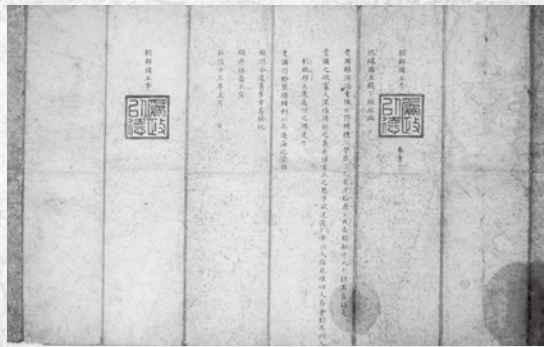
※6月24日(火)～27日(金)、

10月7日(火)～10日(金)は展示替えのため休館

観覧料

大人	2100円 (1660円)
高校生・大学生	1600円 (1000円)
小・中学生	無料

※(一)内は20人以上の団体料金 ※本宅は別途、小学生以上1000円



琉球国王宛朝鮮国王国書 (県指定文化財)

縦60cm、横1mを超える大きな書簡で、現在日本に残る朝鮮国王の国書としては最古のもの。

日本と東アジア地域は、海で隔てられていたものの、昔から往来を重んじ、人材や文化、物流の交流を行っていました。都城地域にも、都城島津家の領地であった内之浦(現・鹿児島県肝付町)を介して、さまざまな交易品が持ち込まれ、さらには渡来人の「唐人町」がつくられました。

今回の企画展では、都城に誕生した唐人町の変遷や、彼らが伝えた文化を紹介し、都城島津家と東アジアの交流の様子をひも解きます。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

南九州の貿易の変遷と唐人町

平安時代には、島津荘では貴族などによる私貿易が行われ、染物の原料や香木などが取り引きされていました。

16世紀には、中国の明政府による貿易規制(海禁政策)が弱まり、民間貿易が活発化。日本で産出した銀や硫黄が輸出される一方で、南九州の港には砂糖や茶碗などが持ち込まれました。

交易で栄え、多くの唐人が渡来



庄内地理志 (県指定文化財)

寛政10年から文政期 (1798～1830) に都城島津家の記録方により編纂された地誌。

した内之浦は、都城島津家の領地であり、領主の居住地であった都城にも唐人町が形成されました。「庄内地理志」には、当時安永諏訪馬場(庄内町)につくられた唐人町が、都城島津家の領地替えとともに各地を転々とし、最終的に現在の中町付近に移された様子が記録されています。江戸時代以降の

唐人たちの活躍と文化交流

都城に唐人町をつくった唐人たちは、商業の他に医療や漢学に秀でていたことから、侍医や通訳者としても登用され、文化や商業の発展に寄与しました。

唐人たちは、日本文化の発展に貢献する一方で、日本文化に同化するのではなく、自国の文化を大切に守りました。天水家に伝わる航海の守り神である媽祖像や、中国象棋がそれを物語っています。

一方、当時の日本人も、大陸の技術や知識を積極的に取り入れることで自国の文化を成熟させていきました。

こうした日本人と唐人との互いの文化に対する理解と受容が、新たな文化の派生と発展を促していったのです。



媽祖像 (庄内地理志より)

楽しく効果的にスキルアップ！ ビジネスセミナーに参加しませんか？

都城地域雇用創造協議会では、求職者や事業者を対象に、技能向上のためのさまざまな講座を実施しています。今回は、6月から7月にかけて実施するセミナーを紹介します。

◎問い合わせ 都城地域雇用創造協議会 ☎23-2412

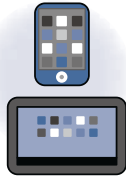
都城地域雇用創造協議会は、平成24年7月から厚生労働省の実践型地域雇用創造事業を受託し、次の3本柱で「地域の雇用機会の拡大と活性化」を支援しています。

- ①セミナーの企画と運営
- ②地域資源を利用したフード商品開発事業
- ③フードツーリズムプランの開発事業

※フードツーリズムとは、都城地域ならではの「食（フード）」と「風土」を観光資源として活用する取り組みです

スマホ・タブレット即活講座

スマートフォンやタブレットなどを活用した、業務の効率化や営業力アップなどを学びます。



開催日：7月2日(水)・3日(木)
時間：18:30~21:00
場所：ウエルネス交流プラザ
定員：10人
締め切り：6月18日(水)

潜在保育士 職場復帰応援セミナー

資格を持っているけど、プランクがあって職場復帰が不安という人向けのセミナーです。



開催日：7月10日(木)・11日(金)
時間：10:00~16:00
場所：総合文化ホール
定員：10人
締め切り：6月30日(月)

※応募者多数の場合は選考になります

セミナーは年間を通して実施していて、事業者や在職者向けの雇用拡大メニューと、求職者向けの人材育成メニューがあり、どちらも受講料とテキスト代は無料です。25年度は、9事業40講座を実施し、558人が参加。91人が就職しています。今後、広報紙やホームページで、さまざまなセミナーの受講者を募集します。
<http://www.mikoyou.com/>

平成26年度 介護保険料の年金差し引き

介護保険料の特別徴収には、4・6・8月の「仮徴収」と、10・12・2月の「本徴収」があり、それぞれ年金から差し引かれます。

所得や収入、世帯状況に変更があった人は、保険料額が変更になり、仮徴収と本徴収の差が

大きくなる場合があります。

そこで、各支払月の保険料の金額ができるだけ均等になるように、8月の保険料額を変更し調整を図り、月々のばらつきを抑えます。

◎問い合わせ
介護保険課 ☎23-2596

〈例〉第3段階(48,000円)→第5段階(64,000円)に変更になった場合

■保険料額の調整をしないと…

毎年度、8月までとそれ以降の支払い月で、保険料額にばらつきが出てしまいます。

26年度 (64,000円)	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	8,000円	8,000円	8,000円	13,400円	13,300円	13,300円

27年度 (64,000円)	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	13,300円	13,300円	13,300円	8,100円	8,000円	8,000円

※平成27年度の保険料(年額)に変更がない場合の例です



■保険料額の調整をすると…

8月の金額を調整することで、それ以降のばらつきが抑えられます。

26年度 (64,000円)	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	8,000円	8,000円	15,800円	10,800円	10,700円	10,700円

27年度 (64,000円)	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	10,700円	10,700円	10,700円	10,700円	10,600円	10,600円